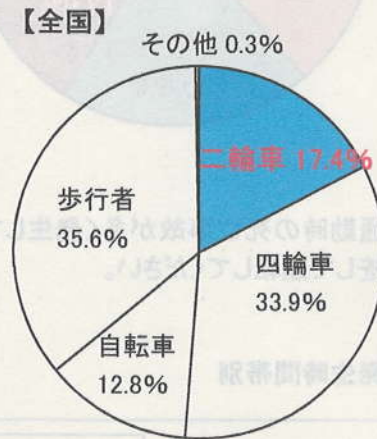
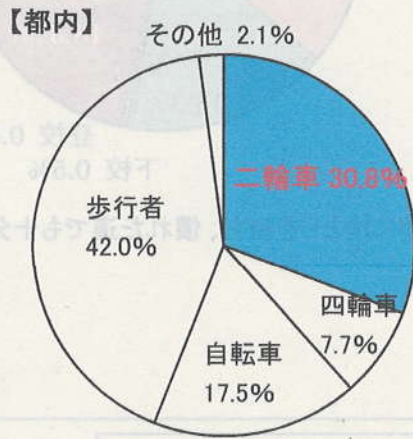


平成30年中 二輪車の交通死亡事故統計(東京都内)

■ 都内・全国の交通事故死者数構成率

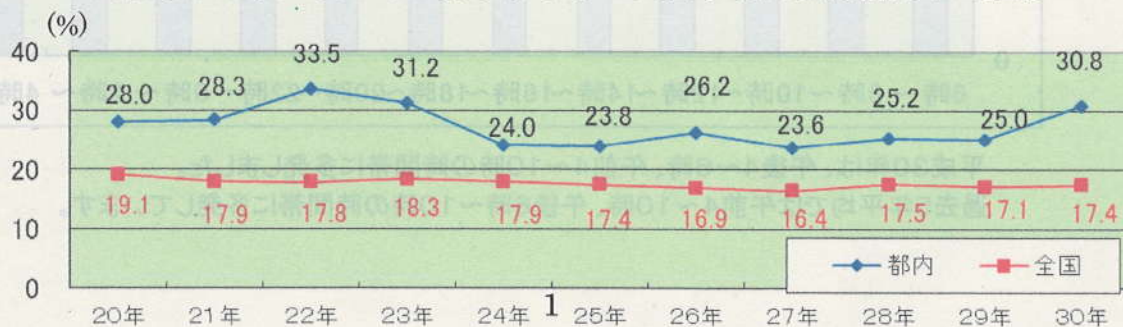
○ 平成30年中の東京都内の交通事故による死者数は**143人(-21人)**で、そのうち二輪車(原動機付自転車を含む)乗車中の交通事故死者数は**44人(+3人)**でした。その構成率は**30.8%(+5.8P)**で、全国平均の17.4%に比べて高い割合を占め、前年に比較し高くなっています。

注 ()内は前年比



	東京都内		全国	
	死者数	構成率	死者数	構成率
二輪車	44	30.8%	613	17.4%
四輪車	11	7.7%	1,197	33.9%
自転車	25	17.5%	453	12.8%
歩行者	60	42.0%	1,258	35.6%
その他	3	2.1%	11	0.3%
合計	143	100.0%	3,532	100.0%

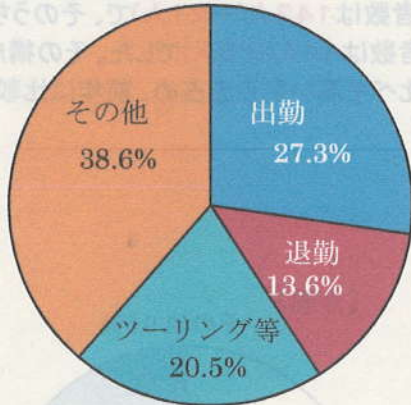
全交通事故死者に占める二輪車乗車中の交通事故死者数構成率の推移



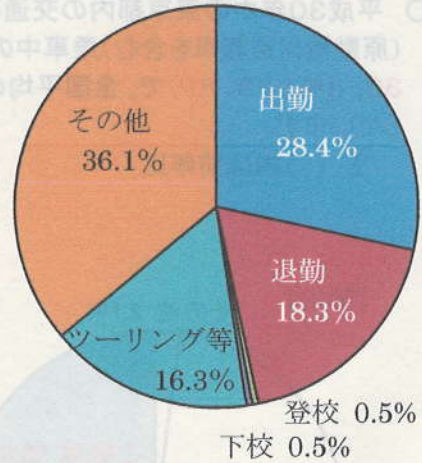
■ 都内の二輪車乗車中の交通死亡事故

○ 通行目的別

平成30年

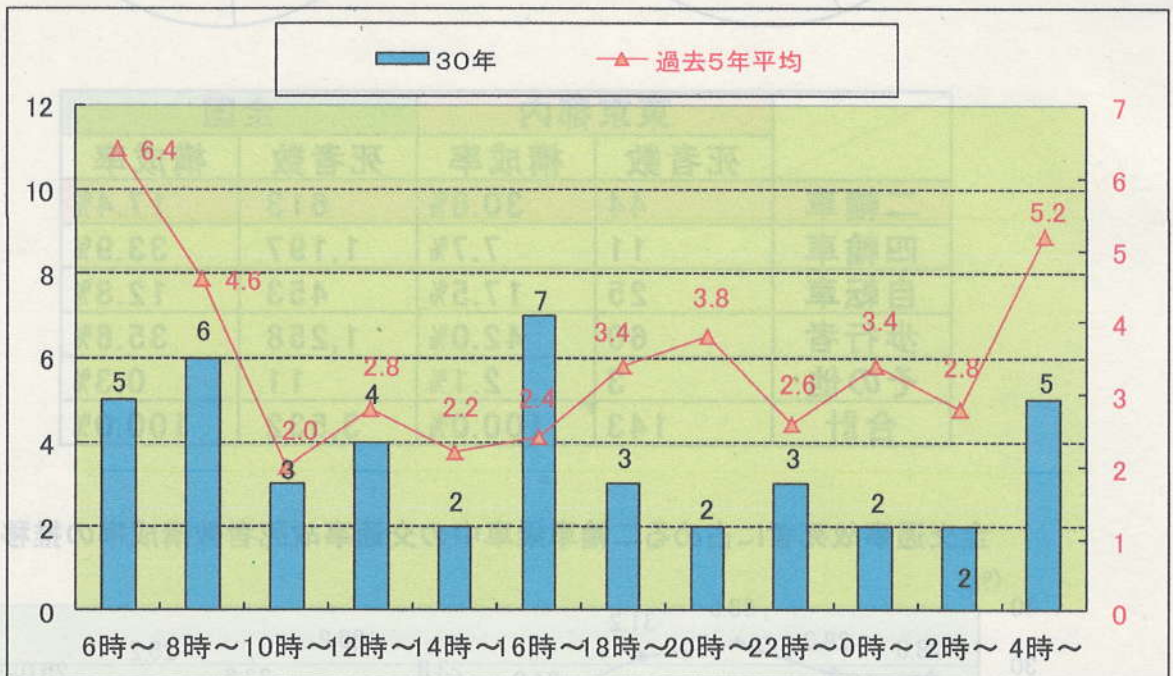


過去5年間



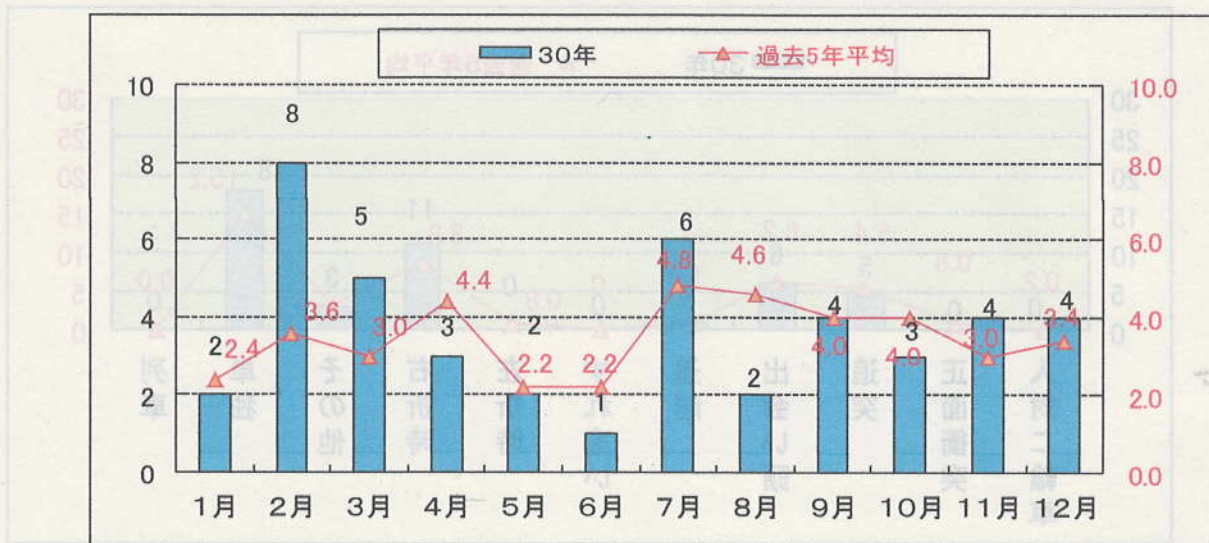
通勤時の死亡事故が多く発生しています。時間にゆとりを持ち、慣れた道でも十分に注意をして運転してください。

○ 発生時間帯別



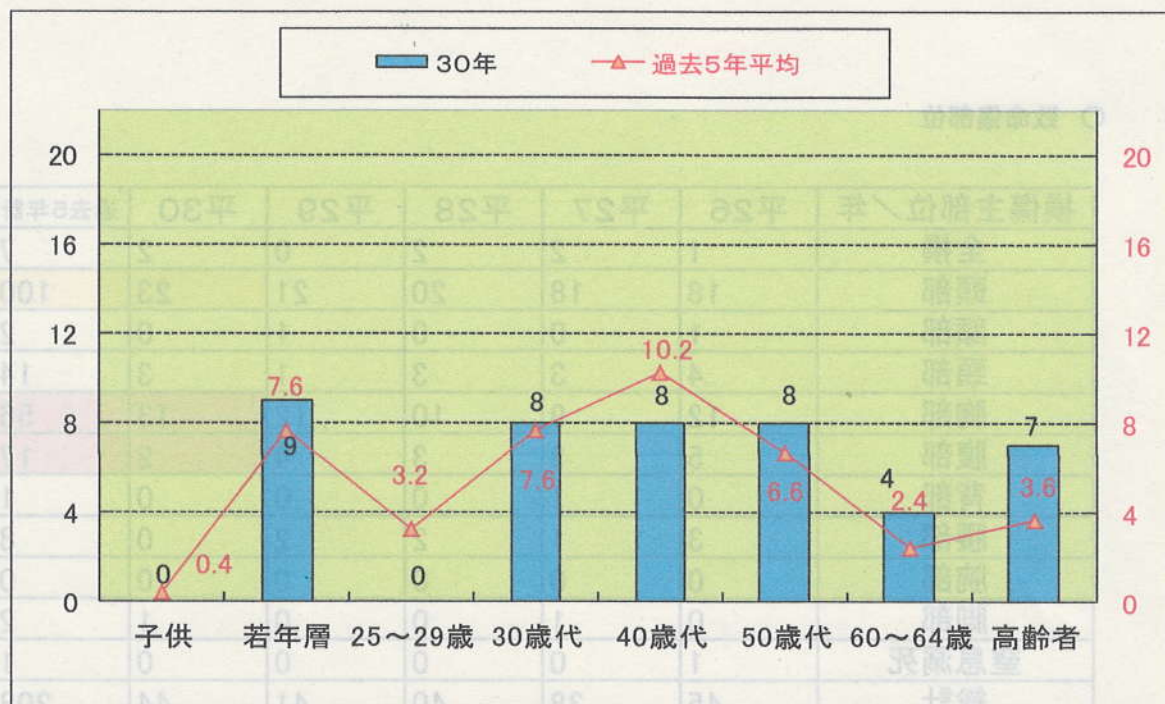
平成30年は、午後4～6時、午前4～10時の時間帯に多発しました。
過去5年平均では午前4～10時、午後6時～10時の時間帯に多発しています。

○ 発生月別



平成30年は、2月に8件と多発しました。
過去5年平均では、7～8月、4月に多発する傾向があります。

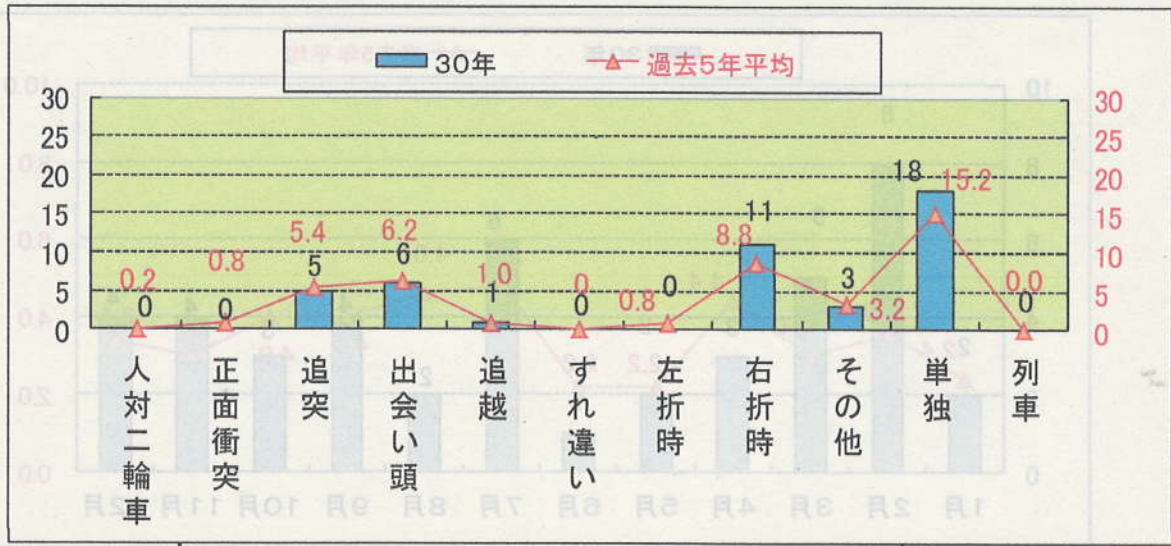
○ 年齢層別



平成30年は、25～29歳を除き、あらゆる世代で死亡事故が発生しています。
過去5年平均では、40歳代と若年層が目立ちます。

○ 事故類型別

概況発表 ○



車両相互の事故

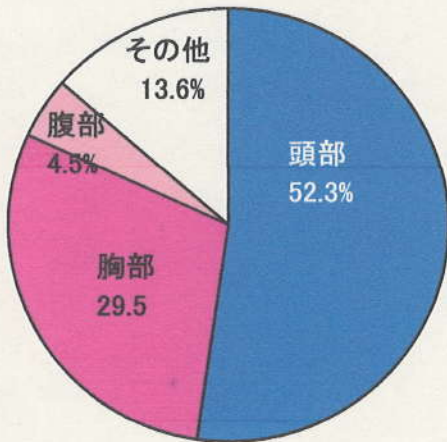
平成30年、過去5年平均ともに単独事故が多く、右折時や出会い頭など、交差点での死亡事故も多発しています。

概況発表 ○

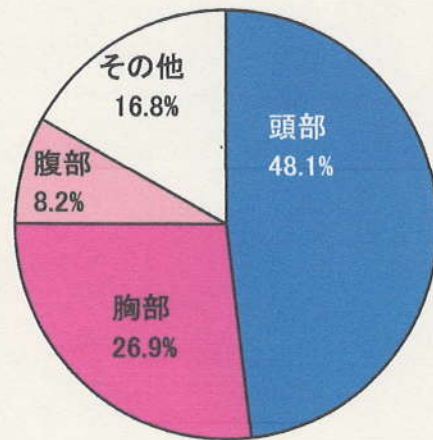
○ 致命傷部位

損傷主部位/年	平26	平27	平28	平29	平30	過去5年計
全損	1	2	2	0	2	7
頭部	18	18	20	21	23	100
顔部	1	0	0	1	0	2
頸部	4	3	3	1	3	14
胸部	12	9	10	12	13	56
腹部	5	3	3	4	2	17
背部	0	1	0	0	0	1
腰部	3	1	2	2	0	8
腕部	0	0	0	0	0	0
脚部	0	1	0	0	1	2
窒息溺死	1	0	0	0	0	1
総計	45	38	40	41	44	208

【 都内 平成30年中】



【 都内 過去5年合計】



事故により最悪の結果を招く原因となる損傷主部位は、**頭部**と**胸・腹部**が大部分を占めています。

また、平成30年中に発生した二輪車乗車中の死者のうち、**40.9%**で事故時に**ヘルメットが脱落**していました。

事故の際に被害を軽減させるには

- ヘルメットのあごひもをしっかり締める
- 胸部プロテクターを着用する

の2点がとても大切です。